

2026年3月期
第3四半期決算説明会資料

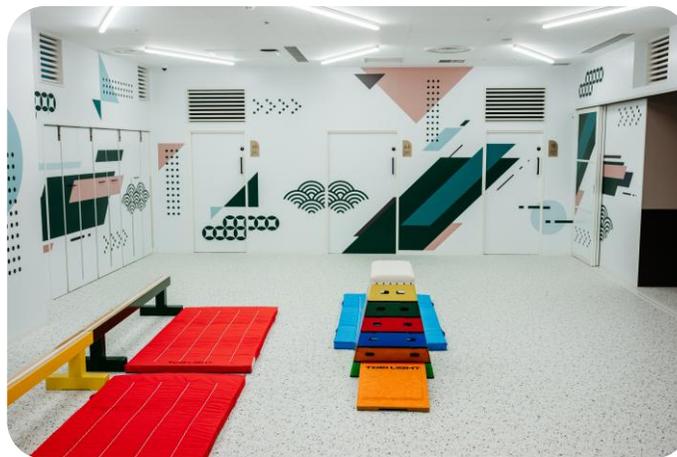
2026年2月20日
株式会社Smile Holdings
証券コード:7084

Smile Holdings



写真:2025年12月1日にオープンしたキッズガーデンプレップスクール麻布台ヒルズ

麻布台ヒルズ園がグランドオープン！契約児童数は順調に推移



- プレミアム教育の新たなフラッグシップとして、「キッズガーデン プレップスクール麻布台ヒルズ(プレミアムスクール)」と「キッズガーデン エデュケーションラボ麻布台ヒルズ(アフタースクール)」が12月1日にグランドオープン。
- 新年度に向けて契約児童数は順調に推移。口コミを通じた引き合いも多く、園見学会については、3月末まで全ての枠が予約済
- プログラミング、金融教育、探求授業(生物観察等の理系教育)、日本文化等、様々な独自プログラムを新年度より導入し、より教育効果が高い保育サービスを提供予定

売上高

104.7 億円

8.2億円増、108.5%
前年同期比

EBITDA

10.0 億円

1.4億円増、117.5%
前年同期比

営業利益

4.5 億円

1.7億円増、161.6%
前年同期比

当期純利益

3.3 億円

1.3億円増、166.0%
前年同期比

運営施設数

83 施設

前年同期比+3施設

※2025年12月1日よりキッズガーデン プレップスクール
麻布台ヒルズ(プレミアムスクール)とキッズガーデン エデュ
ケーションラボ麻布台ヒルズ(アフタースクール)が開園

児童数

5,454 人

+111人、102.1%
前年同期比

過去最高業績の更新を継続しながら、事業領域拡大も積極推進中

業績

- 売上高は、第3四半期として過去最高
- EBITDA(営業利益+減価償却費)も、第3四半期として過去最高
- 営業利益も、第3四半期として過去最高、2024年3月期第3四半期の黒字化達成以来、持続的な成長曲線を維持
- 売上高、EBITDA、営業利益の主要3経営指標が引き続き上場以来過去最高を更新中
- 営業利益、経常利益、当期純利益が通期業績予想を超過しているが、第4四半期は来期以降の成長を見据えた積極投資を想定し、業績予想は据え置き

新園・新規事業

- 12月1日、キッズガーデンプレップスクール麻布台ヒルズおよびキッズガーデン エデュケーションラボ麻布台ヒルズ(アフタースクール)が開園。来年度に向けて契約児童数が順調に推移。3月末まで園見学予約枠は全て埋まっている状況。新年度からはプログラミング、金融教育、探求授業、日本文化等、様々な独自プログラムを導入しさらなる充足率改善を図る

2026年3月期 第3四半期決算ハイライト

Smile Holdings

引き続き既存事業好調により、営業利益・経常利益・当期純利益のすべてが前年同期比+60%以上の大幅進捗

認可保育園については引き続き保育サービスの充実により園児数が堅調に推移し高い充足率を維持。認可外保育園についても、引き続き高いサービス水準を維持しながら、接遇の徹底等の社員教育を実施した結果、契約児童数が堅調に推移。一部園ではウェイティングリストも発生している状況

(百万円)	2025年3月期3Q(前期)	2026年3月期3Q(当期)	増加額	前年比
売上高	9,649	10,470	821	108.5%
EBITDA	854	1,003	149	117.5%
営業利益	282	456	174	161.6%
経常利益	269	453	183	168.1%
当期純利益	199	330	131	166.0%
児童数(人)	5,343	5,454	111	102.1%

2026年3月期 第3四半期決算ハイライト

Smile Holdings

認可保育Gの売上が全体を牽引、および厳格なコスト管理により大幅な利益貢献

既存事業である認可保育Gが売上を牽引すると同時に、新規事業である海外留学支援(国際教育領域)と建築デザイン(ファミリーサポート領域)からの売上が貢献

(百万円)		2026年3月期 通期予想	2026年3月期3Q 実績	進捗率
売上高		13,800	10,470	75.9%
	国内教育領域			
	認可保育グループ	11,800	8,958	75.9%
	プレミアム教育グループ	1,700	1,230	72.4%
	国際教育領域	200	208	104.0%
	産後ケア領域	0	0	-
	ファミリーサポート 領域	100	71	71.0%
EBITDA		1,050	1,003	95.5%
営業利益		350	456	130.3%
経常利益		370	453	122.4%
当期純利益		250	330	132.0%

既存事業は予想数字を大きく超過して進捗し、第4四半期も順調に進捗予定。

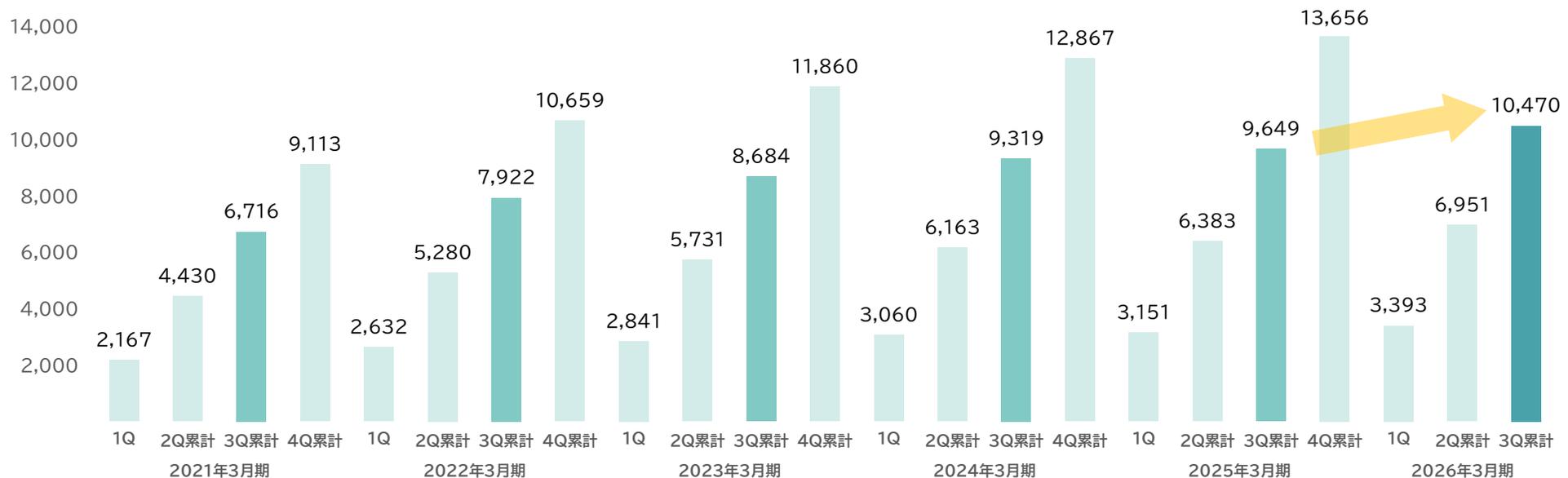
第4四半期は来期以降の成長を見据えた積極投資を想定し、

業績予想は据え置き

(百万円)	2026年3月期 通期予想	2026年3月期3Q 実績	進捗率	
売上高	13,800	10,470	75.9%	<p>予想超過ペースの進捗に加え、 人事院勧告分によるさらなる売上増 見込み</p>
EBITDA	1,050	1,003	95.5%	
営業利益	350	456	130.3%	<p>既存事業は第4四半期も超過ペース で進捗予定。来期以降の成長を見据 えた投資を想定し、業績予想は据え 置き</p>
経常利益	370	453	122.4%	
当期純利益	250	330	132.0%	

第3四半期として過去最高更新。上場以来連続的成長を実現

(百万円)



過去最高

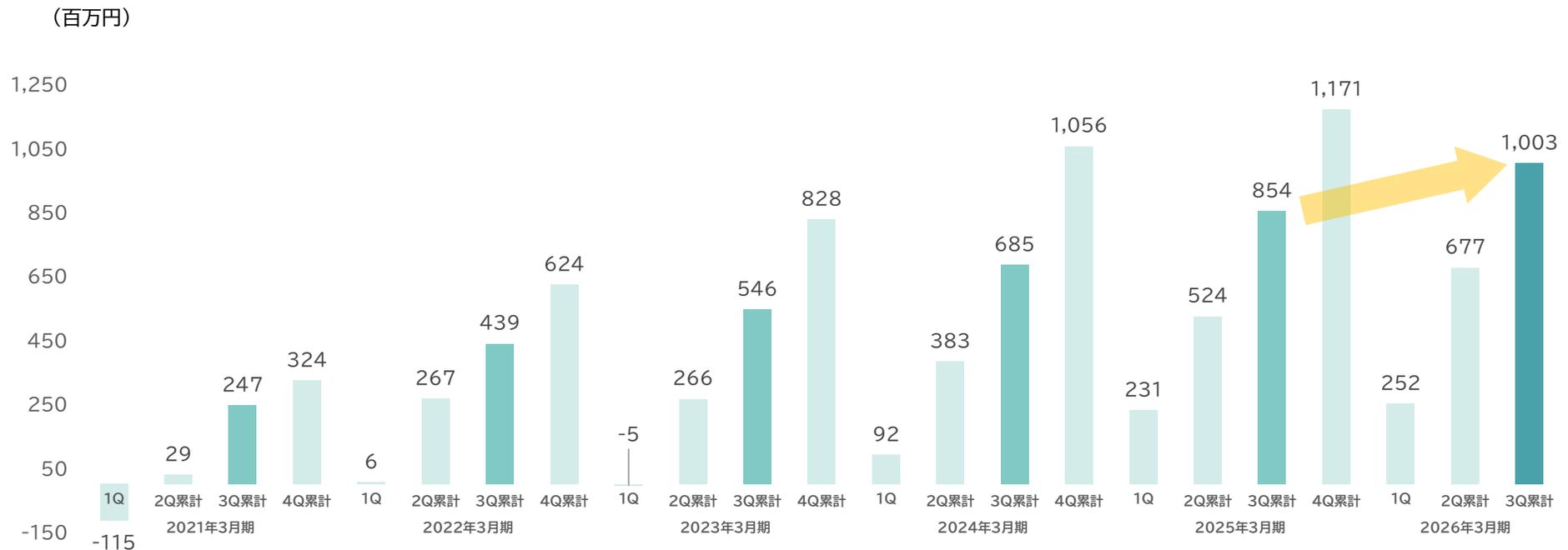
10,470 百万円

前年同期比 +821百万円(108.5%)

2026年3月期 第3四半期決算 EBITDAの推移

Smile Holdings

第3四半期として過去最高更新。上場以来連続的成長を実現

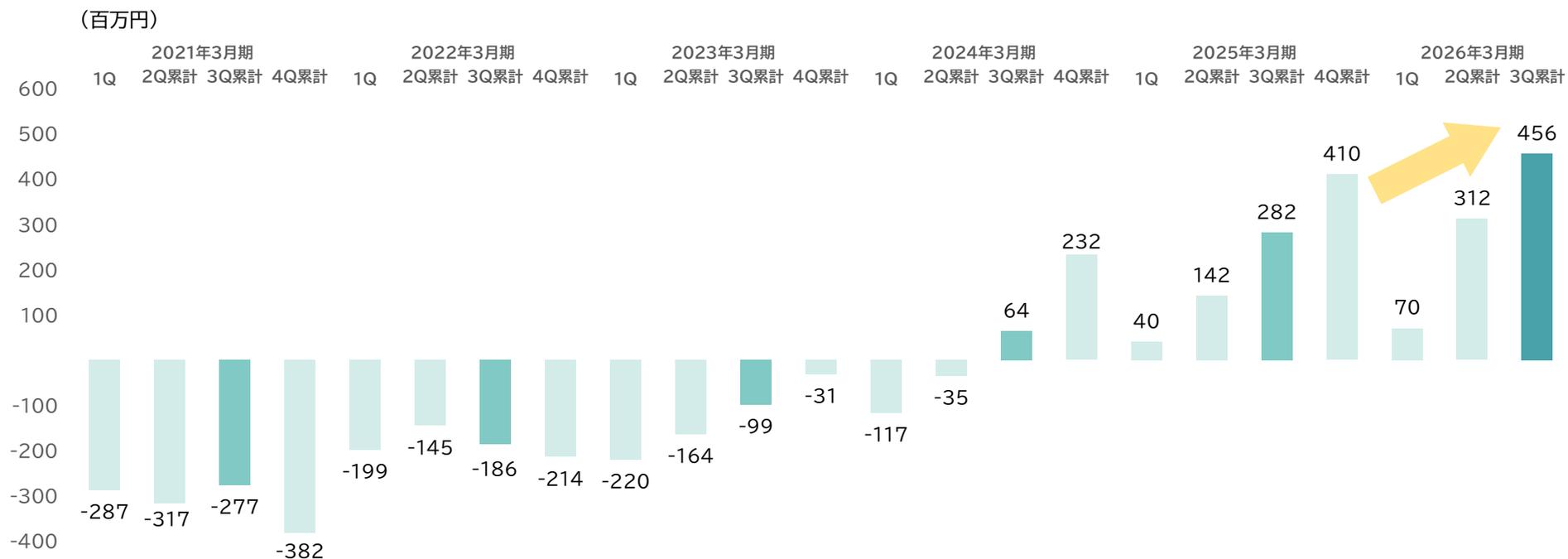


過去最高 **1,003** 百万円

前年同期比 +149百万円(117.5%)

第3四半期として過去最高更新

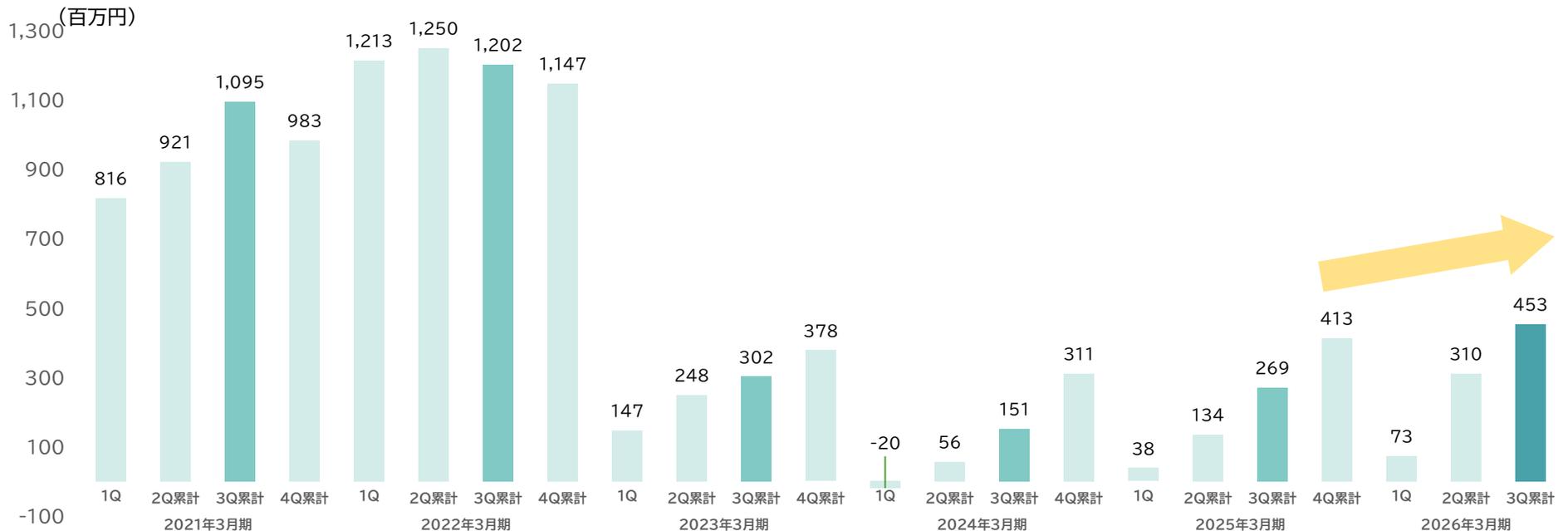
2024年第3四半期の黒字化以来、毎四半期前期比超えを達成



過去最高 **456** 百万円

前年同期比 +174百万円(161.6%)

認可施設開設補助金の減少にも関わらず利益増加傾向



参考:認可施設開設補助金(営業外収益)の推移

2021年3月期(通期):1,391百万円

2022年3月期(通期):1,418百万円

2023年3月期(通期):419百万円

2024年3月期(通期):100百万円

2025年3月期(通期):0百万円

2026年3月期(3Q累計):0百万円

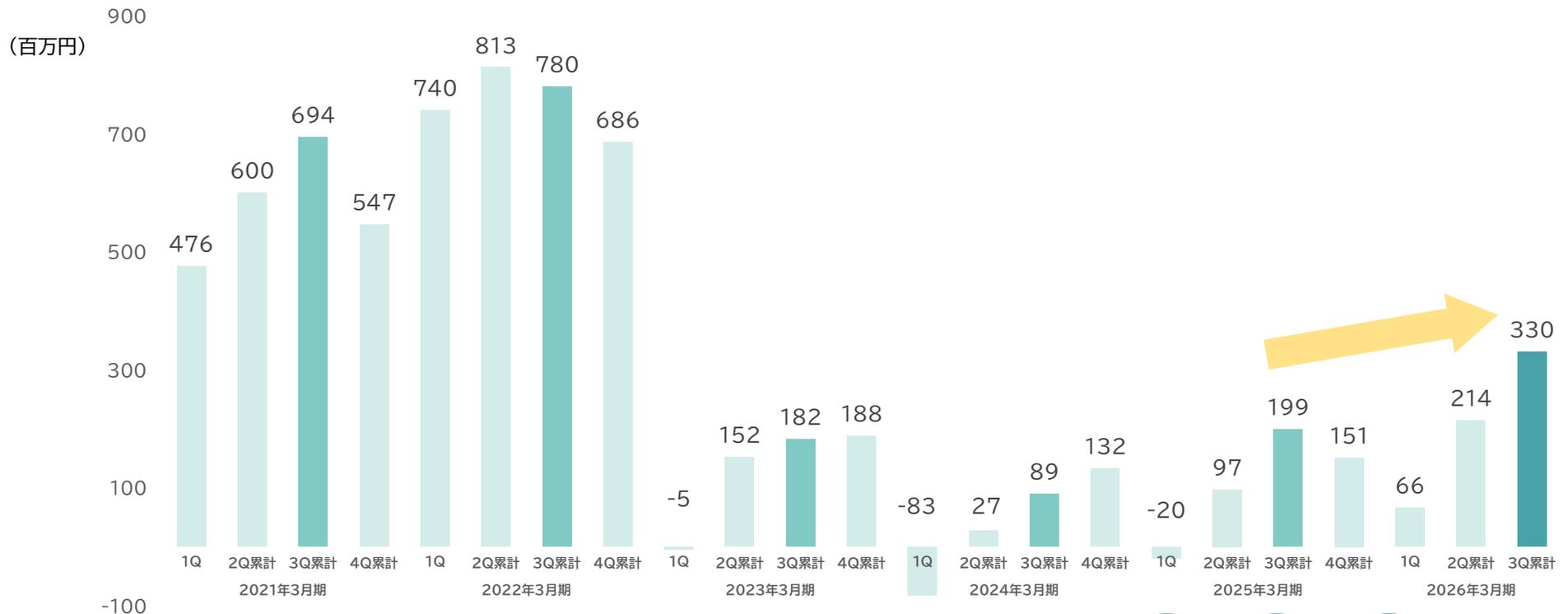
453

百万円

前年同期比 +183百万円(168.1%)

認可施設開設補助金の減少にも関わらず、第1四半期から黒字を

達成したあとも利益増加傾向



330 百万円

前年同期比 +131百万円(166.0%)

高い財務安全性を継続

2025年3月末

総資産15,222百万円

自己資本比率42.7%

有利子負債比率70.6%

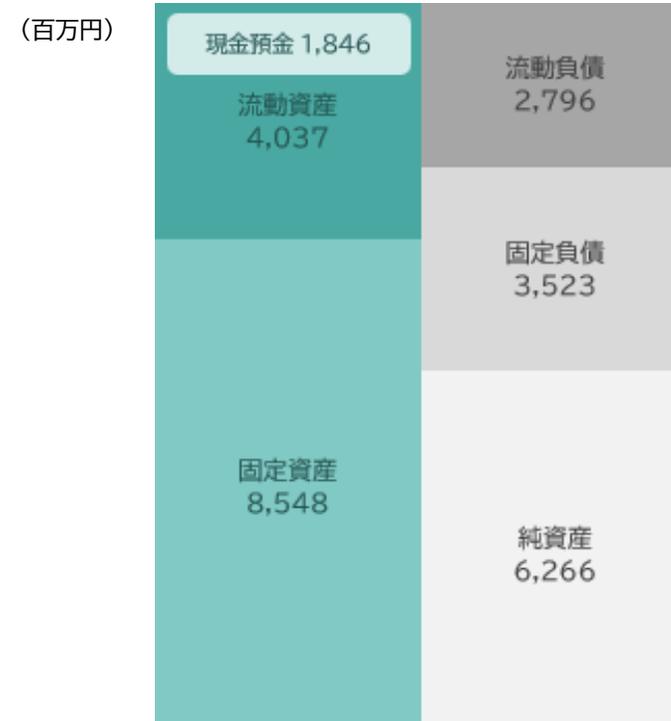


2025年12月末

総資産12,586百万円

自己資本比率49.8%

有利子負債比率49.1%



※有利子負債比率 = (有利子負債 ÷ 純資産) × 100